

患者さんへ

当院では、下記の臨床研究を行っております。対象となる患者さんのデータを用いて行いますが、個人のお名前や個人を特定できる情報が公表されることは一切ありません。

ご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

| | |
|--------------------|--|
| 研究課題名 | 当院における肺炎マイコプラズマ感染症の小児例の検討 |
| 研究責任者 (共同研究者) | 高橋 夏生 |
| 研究目的と意義 | 肺炎マイコプラズマは、幼児から学童における肺炎や気管支炎などの呼吸器感染症の原因になる細菌です。治療はマクロライド系抗菌薬を用いることが基本ですが、2000年代からマクロライド系抗菌薬に耐性を持つ肺炎マイコプラズマ(以下、変異型マイコプラズマ)が報告されるようになりました。変異型マイコプラズマの割合は2011-2012年に80%以上でしたが、2018年には割合が低下し14-50%と報告されました。肺炎マイコプラズマ感染症は約4年おきに流行を繰り返すとされ、本邦では2024年から流行が始まり、2025年現在もその流行が続いています。今回、当院で診断した小児の肺炎マイコプラズマ感染症の特徴を示し、既報との違いを比べることで、診療の質をあげることを目的としています。 |
| 調査対象となる方 (該当期間) | 2024年4月から2025年10月までに当院で診断された0-15歳のマイコプラズマ感染症の患者さん |
| 研究方法 (使用する情報) | 電子カルテに記載のある診療記録と検査データを利用します。 |
| 研究期間 | 2025年12月(倫理委員会承認日 2025年12月12日)-2026年1月 |
| 個人情報の取り扱い | 個人情報は厳正に管理し、利用する情報から氏名や住所などの患者さんを直接特定できる情報(イニシャル、生年月日、当院IDなど)は削除します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。 |
| 本研究の資金源 (利益相反) | 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業などはありません。 |
| お問い合わせ先 | この研究に関して新たに患者さんにいただくことや負担は特にありません。本研究への参加を辞退される場合は、いつでもご遠慮なく研究責任者までご連絡ください。参加を辞退されても患者さんが診療の上で不利な扱いをうけることはありません。 お問合せ先：津軽保健生活協同組合 健生病院 小児科 研究責任者：高橋 夏生 電話番号：0172-55-7717 |
| 備考 | 特記なし |